

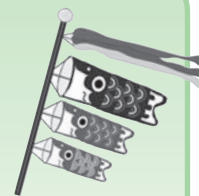
にいが ボランティアセンター だより

Noticia No.148

ノティシア：スペイン語で便り、お知らせ、情報の意味

ボランティアについて「知りたい・したい・求めている」方に向けて発行しています

令和5年5月1日



彩の国 ボランティア体験プログラム

「やってみたい」を「やってみよう」に!

参加者大募集!

毎年夏休みを中心に、主に施設でのボランティア体験を実施しているボランティア体験プログラムは、子どもから大人まで、誰もが気軽にボランティア活動に参加できるきっかけ作りのプログラムです。ぜひこの機会に参加してみてください!!



ボランティア体験の流れ

問合せ 新座市社会福祉協議会ボランティアセンター
TEL048-480-5705

step1

参加申込み

お申込みの上、オリエンテーションにご参加ください。
ボランティア活動の内容や注意事項の説明をします。
また、体験メニューから希望の活動内容を選び、施設と調整します。

step2

ボランティア体験

決定した内容でボランティア体験!
いろいろなボランティア体験をして新しい発見をしよう!
体調を整えて活動に参加しましょう。

step3

レポートの提出

ボランティア体験での学びを振り返って理解を深めよう!
レポートを提出いただいた方には、修了証をお渡しします。

やってみよう!!



詳しいご案内は、新座市社会福祉協議会のHPに準備ができ次第、掲載いたしますのでご確認ください。

※活動内容に関しては、6月中旬にホームページに一覧を掲載します。掲載一覧からご希望の活動をお選びください。

※ボランティア体験プログラムは、5月から来年2月まで実施しています。7月、8月の夏休みに限らずご相談を随時受け付けています。お気軽にご相談ください。

新座市ボランティア団体協議会主催講座報告（令和5年3月24日実施）

新座市社会福祉協議会ボランティア団体協議会の主催で、認知症についての講座を開催しました。社協登録ボランティアグループの会員を対象とした知識向上のために企画した講座ですが、多くの方に受講いただきたく市民の方も募集したところ、沢山の方からお申込みいただき皆様の関心の高さに驚きました。

当日は、講師に認知症専門病院の和光病院院長の今井幸充先生をお招きして、認知症の基礎理解や認知症予防について具体的な事例を交えながら学びました。

講座後に寄せられた感想には、大変勉強になった、今後の生活に生かしていきたい、また今井先生のお話を聞きたいなど今回の講座に満足いただけた感想が多数寄せられました。



社協登録ボランティアグループでは、仲間や参加者の募集をしています。ボランティアグループについて興味がありましたら社協ボランティアセンターまでお問い合わせください。

善意銀行のご報告（令和5年2月～3月） ～皆様のご協力ありがとうございます～

下記のほか、社協・市役所・福祉の里・市内公民館等に設置している収集箱を通じ、市民の皆様からたくさんの使用済切手をご寄付を頂きまして、誠にありがとうございます。引き続き、皆様からの温かい善意をお待ちしています。



個人名・団体各氏名（敬称略）	寄附内容	氏名（敬称略）	寄附内容	氏名（敬称略）	寄附内容
新座市立大和田小学校PTA	使用済切手	匿名	布	匿名	しおり
ボランティアグループヒヤシンス	使用済切手		使用済切手		バッグ
年金者組合新座支部	使用済切手		毛糸		未使用葉書
			鉛筆		未使用切手

新座市社協では、皆様からご寄付を頂いた使用済切手・書き損じはがきを「切手整理ボランティアひとみ会」に整理していただいた後、埼玉県深谷市にある養護盲老人ホームひとみ園に送付しています。ひとみ園では、各団体から送られてきた使用済切手等を収集家の方などに購入してもらうことで資金化し、施設整備等の費用の一部として活用しています。

善意銀行とは？ 善意銀行は、使用済切手や雑巾、車椅子などの品物をお預かりし、必要とされている施設や個人の方への払出しをしています。「こんなものもあるんだけど」という方は、ボランティアセンターまでご相談ください。